

【SR-9 定性的システマティックレビュー】

CQ	1	閉経前ホルモン受容体陽性乳癌に対する術後内分泌療法として何が推奨されるか？
P		閉経前ホルモン受容体陽性早期乳癌 術後内分泌療法
I		タモキシフェン
C		経過観察
臨床的文脈		01：全体集団において、タモキシフェンによりOSの延長が認められた。 02：全体集団において、タモキシフェンによりDFSの延長が認められた。

01		OS
非直接性のまとめ		閉経状況別の患者数は確認できなかった。
バイアスリスクのまとめ		バイアスリスクはなしと判断した。
非一貫性その他のまとめ		非一貫性は認めなかった。
コメント		閉経状況による患者数及びイベント数は確認できなかったが、引用したSR報告において年齢別でのサブ解析が施行されており、そのリスクは年齢に依らず一貫していた。

02		DFS
非直接性のまとめ		閉経状況別の患者数は確認できなかった。
バイアスリスクのまとめ		バイアスリスクはなしと判断した。
非一貫性その他のまとめ		非一貫性は認めなかった。
コメント		閉経状況による患者数及びイベント数は確認できなかったが、引用したSR報告において年齢別でのサブ解析が施行されており、そのリスクは年齢に依らず一貫していた。

03		
非直接性のまとめ		
バイアスリスクのまとめ		
非一貫性その他のまとめ		
コメント		

【SR-9 定性的システマティックレビュー】

CQ	1	閉経前ホルモン受容体陽性乳癌に対する術後内分泌療法として何が推奨されるか？
P		閉経前ホルモン受容体陽性早期乳癌 術後内分泌療法
I		OFS併用あり
C		OFS併用なし
臨床的文脈		O1：OFS併用によりOSの延長が認められた。 O2：OFS併用によりDFSの延長が認められた。 O3：OFS併用によりhot flashesの有意な増加が認められた。

01	OS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

02	DFS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

03	Hot flashes
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

【SR-9 定性的システマティックレビュー】

CQ	1	ホルモン受容体陽性乳癌に対して、術後内分泌療法は有用か？
P	閉経前ホルモン受容体陽性早期乳癌 術後内分泌療法	
I	OFS+アロマターゼ阻害薬	
C	OFS+タモキシフェン	
臨床的文脈	<p>O1：OSに差は認めなかった。</p> <p>O2：DFSに差は認めなかった。</p> <p>O3：G3以上のAEは2試験で報告されていたが両群に有意な差は認めなかった。SAEに関してはOFS+タモキシフェン群で少なかったが、1試験のみの報告であった。3試験で頻度が報告されていたThrombosis/embolismに関して、OFS+アロマターゼ阻害薬群ではThrombosis/embolismが有意に減少した。</p>	

01	OS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	バラつきが存在するが信頼区間の重なりがあることから、「-1」と判断した。
コメント	特になし。

02	DFS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	バラつきが存在するが信頼区間の重なりがあることから、「-1」と判断した。
コメント	特になし。

03-1	Any G3 or more
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

03-2	SAE
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	1試験のみ
コメント	特になし。

03-3	Thrombosis/embolism
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。